

青梅市議会議員

おおせまち 大勢待としあき



青梅市の「空き家」が増加

青梅市議会にて、空き家について一般質問をしました。
青梅市では、中古住宅の活用が進まず空き家が増えています。その原因は、少子高齢化の影響だけでなく、空き家を更地にすると税負担が6倍に増えてしまう税制度にもあります。



青梅市では58,570戸の内、6,160戸が空き家で、空き家率は10.5%です（平成25年9月時点）。

空き家は長期間放置され老朽化すると、周辺地域に様々な問題をもたらします。雑草が生い茂った空き家により、「風景・景観の悪化」、「防災や防犯機能の低下」、「ゴミなどの不法投棄の誘発」など、様々な影響があります。

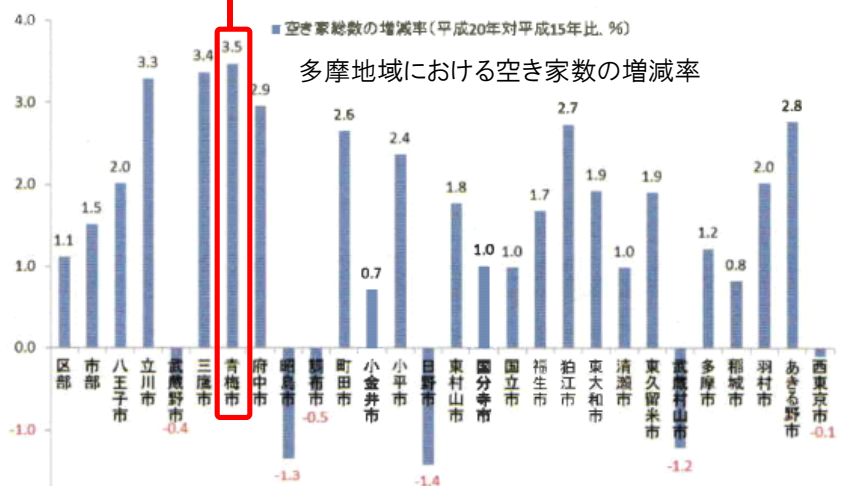
【プロフィール】

1975(昭50)年4月27日生
ねむのき幼稚園
青梅市立若草小学校
青梅市立霞台中学校
都立立川高等学校
青山学院大学経済学部
立教大学院社会学研究科
元IT企業社員
現・中央大学客員研究員
青梅市議会議員(1期目)

「空き家の増加率」

多摩26市で比較すると、青梅市は、近年最も空き家の増加率が高い自治体であることがわかります。

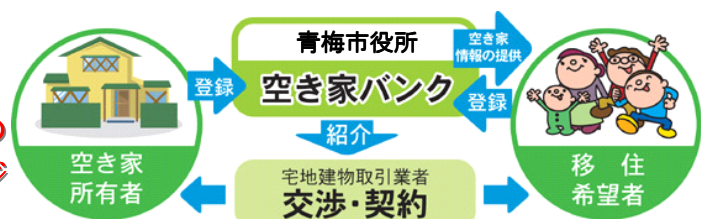
青梅市の空き家増加率がトップ



「空き家バンク」の整備

空き家バンクを整備して、空き家の流動性を高めること。そして青梅市へ移住を希望される方々などに、空き家が広く活用されるよう取り組んでまいります。

空き家
バンクの
イメージ



【お問合せ】 青梅市河辺町10-2-1-911 青梅市新町8-13-20

TEL: 080-6805-9236 FAX: 0428-31-7643 MAIL: t_ohsemachi@ybb.ne.jp

中央大学のシンポジウムで論文発表しました。



中央大学にて発表

青梅市を含む「西多摩地域の持続的な経済発展について」の研究論文を作成し、中央大学経済研究所のシンポジウムにて発表を行いました。

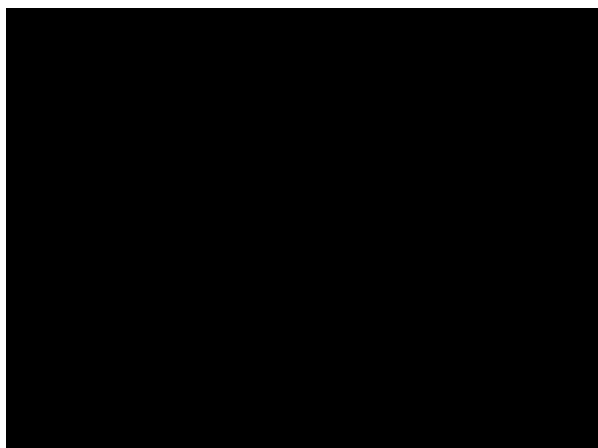
西多摩地域の産業構造と資金の流れを基に、現状の経済体制を分析。今後の展開として、横田基地の軍民共用化と圏央道の開通による可能性を示しています。

論文を読んでくださる方がいらっしゃいましたら、中央大学にて無料で配布していますので、大勢待までご連絡をいただければ差し上げます。



東京・多摩地域の総合的研究
報告書1 行政・経済編

天然芝のサッカー場 & 陸上競技場を視察



totoで整備された多摩市立陸上競技場



totoの助成金を使った競技場の整備の事例を見に行きました。

スポーツは重要です。青少年の育成や地域のレクリエーションなど、コミュニティを形成する役割があります。

その基礎となるスポーツ環境の整備は、青梅市にとって大きな課題です。引き続き環境の整備に向けた活動を進めます。

ただいま育児に参加中！

子育てを通じて、「本当に学ぶことが多いな」と実感している毎日です。

どうしても泣きやまない娘に焦ったり、深夜に病院の救急へ行って待ち時間にビックリしたり、予防注射の補助金に「ありがたいな」と感謝したり、子育てに関する様々な課題を体感しています。

青梅市の子育て環境をより良くするために市議会議員の活動に取り組んでまいります。

